

2021年度 総合政策学部 FD 活動方針・活動計画

① 2021年度総合政策学部 FD 活動方針

今年度のFD活動の方針として、主に三点があげられる。

一つは、昨年度より取り掛かっている「基礎演習」の改善について、本年度中に具体的な改善策を構築することである。「基礎演習」は、専門が異なる複数教員によって運営されているため、この改善はなかなか困難な作業であるが、学部の理念との関係においても是非とも達成したい。

二つ目は、上記の「基礎演習」改善にともない、2016年度までの旧カリキュラムに存在していた必修科目の「総合政策入門」について、その理念と科目の内容をもう一度精査する必要性が確認された。このために、教員の世代交代の中で「総合政策」の理念の継承をFD活動において再確認しつつ、総合政策学部への導入として「総合政策的基礎」の側面を強化する検討に入る。

最後に、昨年度ディプロマ・ポリシーに対応した教育の達成度についての評価法が試行されたが、今年度はその評価と見直しを諮る予定である。

② 2021年度総合政策学部 FD 活動計画

活動方針に基づいて、以下の項目に取り組んでいく計画である。

1. 「基礎演習」の整備

昨年度より懸案となっている「基礎演習」の内容の整備と改善を引き続き行い完了させる。これについては、プロジェクトチームを創設し、その議論を踏まえてより具体的に改善できるよう努力する。

2. 「総合政策的基礎」の検討

上記「基礎演習」の改善に伴い、総合政策学部への導入として「総合政策的基礎」の側面をも強化充実させるための議論をFDとして行っていく。その目標の一つとして、現行の「基礎演習」のテキスト『知の演習』に加えて、それと並行的に「総合政策的基礎」についての新しいテキスト作成の検討に入る。

3. ディプロマ・ポリシーに対応した教育の達成度についての評価法の改善

昨年度試行的に実施した卒業論文の評価について、その結果の検討と、評価法の見直しを実施する。そのために、他大学の動向など情報を収集して、より充実した評価法を改善しつつ実施していく。

以上